

(別紙3)

沖縄県における効果的な捕獲に係る新技術の地域実証計画/評価報告
(効果的捕獲促進事業)

1 対象指定管理鳥獣の種類、技術名、実証地域及び時期

指定管理鳥獣名	イノシシ（イノブタを含む。）
技術名	島嶼部における外来イノシシの根絶に向けた効果的捕獲手法
実証地域	慶良間諸島（渡嘉敷村及び座間味村）
実証時期	令和6年5月 ～ 令和7年3月
実施体制	委託により実施し、検討委員会において評価を行う。
事業費	4, 489千円

注：実証地域の位置が分かる地図を添付すること。

2 現状の指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲の目的・目標、実施状況、効果、課題等

対象地域である慶良間諸島（渡嘉敷村及び座間味村）には多くの有人島や無人島があり、イノシシの分布が拡大している状況である。現在、箱わな、囲いわな、くくりわな、誘引狙撃等の手法を用いて、渡嘉敷島と座間味島を中心に捕獲を実施している。しかし、島毎に面積や地形、イノシシの生息数等が異なり、また、夜間にしか出没しない個体の出現、ケラマジカの錯誤捕獲や誘引餌の盗食といった課題もあることから、根絶を目指すためには、課題を解決するとともに、効果的な捕獲手法を検討・検証する必要がある。

注：捕獲等事業によって目指す地域の状況や、軽減したい被害に関する目標、そのために必要な密度低減の考え方や捕獲数、捕獲の実施状況・効果・課題等を記載すること。

3 地域実証する技術の目的・目標・具体的な内容・効果等

阿嘉島において、イノシシを狙撃ポイントやわな等に誘引し捕獲するにあたり、過年度に検証したシカの忌避剤やわなの種類（簡易囲いわな）では天然記念物であるケラマジカの錯誤捕獲を防ぐことができず、捕獲効率が低下するといった課題がある。今後、阿嘉島において誘引狙撃やわなによる捕獲を実施するにあたり、ケラマジカの錯誤捕獲や誘引餌の盗食を防止し、イノシシを効果的に捕獲できるよう、イノシシのみに給餌させることが可能とされる以下の手法について検証を行った。

①イノシシのみが採餌する誘引餌の検討

イノシシのみが採餌するとされる誘引餌について検証を行った。

②シカ忌避剤の有効性の確認

海外で販売されているシカ忌避剤（過年度検証したものと別の商品）について忌避効果を確認した。

③給餌ボックスの有効性の確認

イノシシのみが開閉可能とされている構造の給餌ボックスについて、シカ及びイノシシによる開閉の可否について確認した。

注1：2を踏まえて、地域実証する目的や必要性、実証の場所や日程、方法、内容、想定される効果等を具体的に記載すること。

注2：実証する技術の写真や内容等の概要が分かる資料を添付すること。

注3：事業終了後の評価報告においては、注1～2について実施した内容・結果を具体的に記入すること。

4 技術の効果の検証・評価方法/結果

①イノシシのみが採餌する誘引餌の検討

阿嘉島において、イノシシのみが採餌するとされる誘引餌の配合3種類について検証した。結果、いずれの餌もイノシシより先にシカが完食する割合が高く、今回検証した配合の餌では、イノシシのみに給餌させることはできないと思料された。

②シカ忌避剤の有効性の確認

阿嘉島において、海外で販売されているシカ忌避剤1種類を餌に噴霧し、忌避効果を確認した。忌避剤を噴霧していない餌だけでなく、噴霧した餌についてもシカが完食する結果となり、今回検証した忌避剤では、シカの採餌を抑制することはできないと思料された。

③給餌ボックスの有効性の確認

阿嘉島及び渡嘉敷島において、イノシシのみが開閉可能とされている構造の給餌ボックスを自作し、シカ及びイノシシによる開閉の可否について確認した。

結果、シカが扉を開けて採餌する様子は確認されなかったが、イノシシは扉を開けて採餌する様子が確認できたため、イノシシを選択的に給餌させることが可能であると思料された。

注：3を踏まえ、実施結果の確認方法や目的・目標に対する地域実証の効果を図るための指標（被害指標や密度指標等）やその収集方法、評価の方法等について記入すること（事業終了後の評価報告においては、その評価結果を具体的に記入すること。）。

5 技術の活用・普及方法、その他

今回検証した誘引餌の配合とシカ忌避剤については、シカの採食抑制効果を確認することはできなかった。

一方、給餌ボックスについては、イノシシを選択的に給餌させることが可能であると思料された。

次年度は当該給餌ボックスを用いて実際に捕獲作業を実施し、実効性について検証したい。

注1：地域実証する技術の活用・普及方法について記載するとともに、地域実証に当たって、特記すべき事項があれば記入すること。

注2：事業終了後の評価報告において、特記事項に対するコメントがあれば記入すること。